

札幌・今井記念館を中心に演奏会

中島 聖山

伝統芸能「北海道」の歩み・尺八篇を連載してきたが、今回で10回を越えることになった。

前回から各流派にこだわることなく、尺八界の総合的な活動ぶりを捕らえることとし、第10号ではラジオ放送を通じて、北海道の尺八界の歩みに触れてみた。そこで今回は、温習会も含めた演奏会の開催状況と、各地の様相について探ってみることにする。

年とともに増える演奏会

手元にある資料に基づいて、大正後期から昭和初期にかけての、道内各地における尺八主催の演奏会を拾って見ると、表1のようになる。

これからも分かるように、年を重ねるごとに各流派とも勢力を伸ばし、演奏会開催件数を増加させている。但し、大正12年は前年に比べ13件と極端に増えているが、これは流祖

中尾都山が北海道巡演のため来道し、函館、小樽、札幌、旭川など、全道各地で流本部主催の演奏会を開催したためである。
琴古流では、竹友社が室蘭を中心に、早くから活動を開始し、荒木古童を会主とする童

表1 流派別開催件数

	大正11	12	13	14	昭和元	計
都山流	1	8	1	5	8	40
竹	2	4		3	3	21
鈴			1	1	2	19
童	1	1		1	3	6
計	3	5	2	5	13	46
上田流				1	2	8
合	4	13	2	8	15	94

※竹友社、鈴鈴藝会、童童窓会

窓会は、函館の長谷川羊童が孤軍奮闘した。また、青木鈴慕の来札が契機となって、鈴慕会も大正14年から演奏会を始めている。
上田流は青木呂童の来札に合わせ、琴古流、鈴慕会と同様、大正14年から演奏会を始めた。各流派別に開催件数を比較した場合、大正12年に行われた中尾都山来道特別演奏会の6件を除けば、琴古流が一番多く、都山流・上田流の順で続いている。したがって北海道における尺八界の活動は、琴古流が先駆的役割を務め、都山流や上田流が琴古流の活動に刺激され、琴古流を目標に活動を展開してきたと言えるだろう。

都市別の開催状況

北海道の開拓は、開拓使を置いた札幌を始め、函館・室蘭・小樽などの港町を中心に進められたが、尺八音楽もまた都市の発展に伴い、主要都市を核として普及してきた。

山床 かつら

板 坂

板坂又二郎

■店 〒130 東京都墨田区横川2丁目11番5号 (齊藤ビル1階) ☎(03)3621-0166

■自宅 〒110 東京都台東区根岸2丁目21番17-601号 ☎(03)3875-6183

表2 都市別開催件数

	都山流					琴古流					合計				
	札室	函小	旭他	札室	函小	旭他	札室	函小	旭他	札室	函小	旭他	計		
大正11	1														
大正12	2	1													
大正13	1	2													
大正14	2	1													
昭和元	1	3													
昭和2	2	1													
昭和3	2	3													
昭和4	3	1													
合計	13	10	7	2	4	4	25	3	8	4	6	2	44	13	
※札II札幌、室II室蘭、函II函館、小II小樽、旭II旭川、他IIその他															

都市別の開催件数を見ると、表2のとおり札幌が一番多く、2位の函館の2倍以上になっている。これは各流派が競って「北の都」である札幌を拠点として、北海道における自流の普及を目指したからである。特に琴古流は鈴舞会と竹友社が札幌を中心に活発な演奏活動を展開し、昭和2年には何と10回の大小様々な演奏会を開催したのである。

都山流は札幌に片寄ることなく、室蘭とパランスを取りながら演奏会を開催している。これは日本製鋼所室蘭工場に勤めながら、札幌で唯一の専門師匠として活躍していた畑中康山と対等に活動を展開していた、村垣谷山の業績によるものである。

上田流は琴古流・都山流にかなりの遅れを取りつつも、青山呂童の精力的な努力によって門人の数を増やし、昭和4年には帯広と追分でも演奏会を開催し、地方進出の足掛かりを作った。

流派合計で見ると、札幌に続いて函館・室蘭・小樽・旭川の順になっている。主要5都市以外では岩見沢・夕張・追分など、空知地方の中核都市や遠くは釧路・帯広の街で、小規模ながら演奏会が行われてきた。

今井記念館を中心に

尺八主催の演奏会は札幌を中心に開催されてきたが、どんな会場を利用していたのだろうか。会場別開催件数を取りまとめでみると、表3のようになる。

会場名	回数	記事
太平館	10	昭和2年まで利用
鉄道クラブ	6	
札幌劇場	2	
札幌帝国館	1	
札幌豊平館	1	
時計台	1	
今井記念館	18	昭和2年以降頻繁利用
円山公会堂	1	
帝国大講堂	1	
市公会堂	2	

表3 札幌での会場別利用回数

最も多いのが今井記念館であり、2番目が大平館である。しかし、年度別に利用状況を調べてみると、大平館の利用は昭和2年10月までで、その後は全く利用されず、昭和3年以降は大平館に代わって今井記念館が利用されている。大平館は札幌市南5条西3丁目にあったが、昭和3年以降全く利用されていなかったことから、昭和2年秋に閉館したのではないだろうか。今井記念館は写真からも分かるように、近代的な建築物で大平館とは比較にならない。今井記念館の利用回数は昭和6年1回、2年9回、3年8回と閉館後急激に利用回数が増え、他の会場に比べ群を抜いている。したがって大平館は今井記念館に客を取られた形で閉館したのではないかとの推論が出てくる。

3番目に多いのは鉄道クラブである。これ

は琴古流や都山流の流人に国鉄職員が多く、職員用の福利厚生施設として建てられた鉄道クラブを利用したからではないだろうか。



大平館



今井記念館「(株)今井沿革と事業の全貌」(昭和15年日刊土木建築資料出版社)から

東京公演等への参加

以上のように、道内では札幌を中心に各流派の演奏会が開催され、会主はもとより門人たちも含めた流勢拡大のための活動が展開された。

—創造する映像集団— Something out of Nothing

PROJECT

ZERO

円グループは

ひとりぼっちの人間が個人の尊敬、自由、生活を守るためにつくられた人間集団です。

円グループ代表 渡辺 順一

札幌市西区24軒3条2丁目4番12
 琴似グランドハイツ210号
 TEL 644-1876
 スタジオ TEL622-4688

道内で活躍する会主たちは、技量を磨くためはるばる家元を訪ねて教えを乞いたり、家主主催の演奏会に出演し、中央の邦楽界で活躍する糸方と合奏をした。特に荒木古童が主宰する童窓会に所属していた函館の長谷川羊童は、毎年のように上京し童窓会の定期演奏会に出演した。そして、昭和2年10月9日午後1時より東京丸の内数寄屋橋にある朝日新聞社講堂で行われた、第10回童窓会の定期演奏会では、米川親敏の箏・福田菊子の三絃で「若菜」を演奏した。また、翌昭和3年10月21日に明治神宮外苑の日本青年会館で開催された第12回童窓会の定期演奏会では、富崎春昇の三絃・木谷寿恵子の箏で「御山獅子」を演奏した。

一方、琴古流北海道鈴慕会の藤沢鈴昭は、昭和3年4月1日に帝国ホテル演奏場で開催された、鈴慕会20周年記念演奏会に出演し、箏・米川親敏、三絃・富崎春昇を相手に「青柳」を独奏した。

また、都山流の畑中康山は大正10年3月13日午前9時から大阪の中央公会堂で開催された、都山流創始25周年記念演奏会に北海道代表として出演し、京都の津田検校や大阪の菊原検校を相手に松竹梅を演奏した。

このように、当時北海道で流勢拡大のため活躍していた師匠たちは、中央でも通用する技量を有し、流組織の要として重責を果たしていた人物なのである。

各派家元出演の演奏会

北海道はまた各流派にとって、新しく勢力を拡大できる可能性のある重要な地域だった。その証拠に、交通の不便を押し、各派の家元がはるばる北海道における演奏会に出演するため来道している。

大正11年夏から昭和4年までの8年間に於ける各派家元の演奏会出演のための来道回数を調べてみると表5のようになる。最も多いのは琴古流鈴慕会の会主である青木鈴慕で5回となっている。これは青木鈴慕が関東大震災後、約1年間札幌に移り住んで音楽活動を展開した強みであろう。

次に多いのが都山流宗家中尾都山の3回である。都山流は尺八界最大の、全国規模を誇っていたから、全国各地からの宗家巡演を希望する声が多く、北海道の3回は、いかに中尾都山が北海道を重要視していたかを示している。

ではいかと推測できるが、記録が無いので明言できない。ここで特徴的なことは、各派の家元たちが道東を除いて、道内の主要都市をバランス良く回っていることである。南から挙げると函館・室蘭・小樽・札幌・旭川となっている。今では東京からプロの演奏家が来て演奏会をするとなると、どうしても札幌に集中してしまふ。そういう意味では60数年前の方が、道内における文化面での都市バランスが保たれていると言えるのではないだろうか。

表4 東京公演への参加状況

	催 事 名	場 所	主 催	道内からの出演者
昭2/5/1	第9回童窓会演奏会	明治神宮外苑日本青年館	荒木古童	長谷川羊童(函)
昭2/10/9	第10回童窓会演奏会	数寄屋橋東京朝日新聞社	荒木古童	長谷川羊童(函)
昭3/4/1	鈴慕会20周年記念演奏会	東京帝国ホテル演芸場	青木鈴慕	藤沢鈴昭(札)
昭3/10/21	第12回童窓会演奏会	明治神宮外苑日本青年館	荒木古童	長谷川羊童(函)
昭4/4/3	第1回鈴慕会師範演奏会	東京丸の内保険協会	青木鈴慕	藤沢鈴昭、橋本鈴法(札)
昭4/5/18	第13回童窓会演奏会	東京丸の内朝日新聞社	荒木古童	長谷川羊童(函)

表5 各派家元出演の演奏会

年月日	出演家元	主 催	会 場
大11/8/12	荒木古童	童窓会	函館市公会堂
12/4/14	川瀬順輔	鶴声会	函館市公会堂
12/4/15	〃	簫鳴会	小樽市クラブ
12/7/7	中尾都山	流本部	函館市公会堂
12/7/9	〃	〃	小樽市クラブ
12/7/11	〃	〃	室蘭劇場
12/7/13	〃	〃	夕張鹿谷社員集會場
12/7/15	〃	〃	札幌市太平館
12/7/16	〃	〃	旭川市市村
13/6/22	青木鈴慕	鈴慕会	旭川市第2神田館
14/7/11	上田芳懂	美登里会	札幌劇場
14/9/6	青木鈴慕	鈴慕会	太平館
昭元5/22	川瀬順輔	玉声会	豊平館
元5/26	〃	〃	旭川商業会議所
元8/14	河本逸童	三曲同好会	〃
元9/5	青木鈴慕	鈴慕会	時計台
2/6/21	〃	〃	札幌市今井記念館
2/10/14	吉田晴風	簫風会	小樽市クラブ
2/10/16	〃	鈴慕会	札幌市今井記念館
2/10/18	〃	三曲会	旭川ミヤコ館
3/6/23	中尾都山	流本部	札幌市公会堂
3/8/4	荒木古童	童窓会	函館市公会堂
3/9/29	青木鈴慕	鈴慕会	札幌市公会堂
3/9/30	〃	〃	小樽市クラブ
4/7/6	中尾都山	竹霊会	函館錦輝館
4/8/28	井上重美	鈴慕会	旭川商業会議所
4/9/28	青木鈴慕	鈴慕会	札幌錦輝館

優雅な邦楽の音づくりにご奉仕する

邦楽<琴・三絃>の店

川村楽器店

札幌市中央区南3条西2丁目(HBC三条ビル) ☎代221-4970

■営業時間/午前10時~午後7時/月曜定休日

●各種カードをご利用下さい。